

第 40 期第 5 回理事会議事録

日時：2018 年 11 月 19 日（月） 14 時 00 分～17 時 30 分

会場： 気象庁（東京都千代田区）講堂

出席理事： 岩崎俊樹，瀬上哲秀，青柳暁典，氏家将志，佐藤正樹，塩谷雅人，新保明彦，坪木和久，仲江川敏之，中村 尚，早坂忠裕，平松信昭，堀之内 武，渡部雅浩 以上 14 名
（理事数現在 20 名）

出席監事： 鈴木 靖，高谷康太郎，以上 2 名

その他の出席者： 勝山 税，志村 隆，横手嘉二（事務局）

議 題

1. 協議事項

1) 会員の新規加入等について

新入会 21，退会 26 を全会一致で承認した。2018 年 11 月 12 日現在，会員数 3,532 名で個人会員は 3,299。

2) 第 40 期第 4 回理事会議事録の確認

議事録案を全会一致で承認した。

3) 掲載料免除規程の改正について

掲載料免除対象として「松野賞受賞者が，当該受賞発表内容について，日本気象学会大会発表から 2 年以内に気象集誌または SOLA へ筆頭著者として投稿する場合には，投稿論文 1 件の掲載料を免除する。」を追加する規程の改正を全会一致 で承認した。

4) 「奨励賞」の「小倉奨励賞」への名称変更について

名称変更及び名称変更に伴う規程の改正について，全会一致で承認した。

5) 年会費免除申請について

平成 30 年北海道胆振東部地震被災に伴う年会費の免除申請が 3 件あった。

申請内容及び報告された被災状況を検討し，3 件の申請を免除の対象にならないとして棄却した。

2. 報告事項

1) 業務執行理事の報告

庶務・・・以下の報告があった。

・ 転載許可

申請者：有限会社テラパブ

転載元：Fig.3, Fig.4, Fig.7, Yamasaki, M., 2006 : A study of tropical cyclone formation with a 20-km grid model, SOLA, 2, 9-12. 他 5 件

転載先：Monographs on Environment, Earth and Planets

・ 後援名義等使用依頼受付

①名称：第 34 回北方圏国際シンポジウム

主催：北方圏国際シンポジウム実行委員会

期日：2019年2月17日～22日

場所：北海道紋別市（紋別市民会館・文化会館・市立博物館）

名義：後援

②名称：第19回「こどものためのジオ・カーニバル」

主催：こどものためのジオ・カーニバル企画委員会

期日：2018年11月3日～4日

場所：大阪市立自然史博物館

名義：後援

③名称：International Workshop on Wind Effects on Buildings and Urban Environment

主催：東京工芸大学風工学共同利用・共同研究拠点

期日：2019年3月10日～12日

場所：東京工芸大学 厚木キャンパス

名義：後援

④名称：第4回理論応用力学シンポジウム

主催：日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同力学基盤工学分科会

期日：2019年1月23日

場所：日本学術会議講堂

名義：共催

⑤名称：第23回「震災対策技術展」横浜—自然災害対策技術展—

主催：「震災対策技術展」横浜 実行委員会

期日：2019年2月7日～8日

場所：横浜国際平和会議場

名義：後援

⑥名称：第3回 WEATHER-Eye オープンフォーラム

主催：気象影響防御技術コンソーシアム

期日：2018年12月11日

場所：東京大学 武田ホール

名義：後援

⑦名称：No.18-156 講習会「流体とインフォーマティクス」

主催：日本機械学会（流体工学部門）

期日：2019年1月16日（水）

場所：日本機械学会会議室（第1・2会議室）

名義：協賛

・寄附者リスト（2018.9.6～201.11.14）

なし

・定款改定に伴う今後の対応について、今後、総会の招集のメールでの通知を承諾いただ

いた会員のメーリングリスト作成, 議決権行使及び委任の web 入力画面の作成を行う。理事会も電子メール上での開催が可能になったことから, 理事会の承認が必要な案件があれば, 適宜理事会を開催することとする。

会計・・・以下の報告があった。

- ・2018年9月, 10月分の収支及び現預金検査報告。
- ・研究連絡会等補助金申請の報告。
- ・2018年度春季大会決算報告。
- ・第30回夏季特別セミナー(夏の学校)実施報告。
- ・2019年春季大会に係る学会交付金増額に関する大会実行委員会からのお願い。

企画調整・・・以下の報告があった。

- ・研究業績の表彰事業について, 当面は賞の種類や賞金については現状通りとするが, 今後学会収支に改善が見られない場合は再度見直しを行う。

2)委員会報告

講演企画・・・以下の報告があった。

- ・「大会講演予稿集と大会参加費の見直し案への会員からの意見募集」の結果の報告。理事会開催時点で16件中, 11件から基本的な方針に賛成する旨の意見があった。
- ・「大会講演予稿集と大会参加費の見直し案への会員からの意見募集」とその対応」の講演企画委員会案の検討。記載する内容については理事会で承認された。大会講演予稿集と大会参加費の見直し結果の通知の別紙として, 今後修正ののち理事会メーリングリストでの確認後, 天気及び気象学会ホームページに掲載することとする。
- ・2018年秋季大会の実施報告。
- ・大会参加費の改訂に伴う, 大会受付システムの改修を発注した。
- ・2019年春季大会専門分科会について4件申し込みがあった。4件とも理事会メーリングリスト上で承認された。

天気編集・・・以下の内容が報告された

- ・Vol.65No.10(2018年10月号)の掲載記事と, Vol.65No.11,12(2018年11月,12月号)の予定記事の報告。
- ・天気 Vol 65 No.10 に日本海洋学会の紹介記事が掲載された。
- ・日本海洋学会刊行の JOS ニュースレターVol.8 No.3 (2018年11月発行)に日本気象学会の紹介記事が理事長名で掲載された。

気象集誌編集・・・以下の内容が報告された。

- ・論文査読状況。
- ・掲載料免除申請2件。

SOLA 編集・・・以下の内容が報告された。

- ・掲載料免除申請2件。

気象研究ノート・・・以下の内容が報告された。

- ・第238号「静止気象衛星 ひまわり8号・9号とその利用」が11月20日刊行予定。

- ・第 238 号以降の号も編集作業が進んでいる。
- ・古い気象研究ノートの会員限定での Web 公開について、認証システムの構築が進んでいる。著作権上問題のない号から順次公開予定。

松野賞候補者推薦・・・以下の内容が報告された。

- ・2018 年春季、秋季大会での実施結果を踏まえ、公平性や選定の透明性の観点から松野賞選定規程の変更を検討している。主な検討内容は、ポスター発表も受賞対象に含めること、審査員の選出方法、最終的な推薦者の決定方法、指導教員の承諾の形態など。規程の改正の詳細については、理事会メーリングリスト上での審議を継続する。

学術・・・以下の内容が報告された。

- ・2018 年秋季大会にて、委員会を開催した。
- ・日本学術会議の大型研究に関するマスタープラン（マスタープラン 2020）について、航空機観測による気候・地球システム科学研究の推進を気象学会から提案することを検討している。学術委員会としての方針を作成したら、理事会に照会し、承認を受けることとする。提案に関しては、航空宇宙学会と連携しつつ検討を行っている。さらに、他の関連学会との連携を検討している。
- ・数値拡散モデルの原子力防災への応用に関する課題とガイドラインに向けた課題を検討している。社会的影響が大きい、不確実性を含む予測情報をサイエンスとしてどのように扱うか、ある程度指針作りが必要ではという考えによる。ガイドライン案を作成したら、理事会に照会し、可否の判断やコメントを受けることとする。
- ・第 39 期学術委員会でまとめた、地球観測のあり方に関するレポートは、天気等への投稿を検討している。

気象災害・・・以下の内容が報告された。

- ・2018 年秋季大会前日に、平成 30 年 7 月豪雨に関する研究会をメソ気象研究連絡会との共催で実施した。

教育と普及・・・以下の内容が報告された。

- ・2019 年春季大会時の第 5 回日本気象学会ジュニアセッション開催とその予算案が提案され、理事会は全会一致で承認した。参加交通費補助については、小倉基金を活用する予定。
- ・気象教育に関する気象研究ノートに関する執筆方針、目次作りを行っている。
- ・サイエンスカフェの開催予定。
- ・気象教育懇談会の開催予定。今後は気象教育セミナー（懇談会）と名称を変更して開催する。

国際学術交流・・・以下の内容が報告された。

- ・2018 年 10 月 29 日に第 1 回小倉特別講義を開催した。会場がほぼ満員になる盛況であった。アンケート結果も、「参加する意義があった」、「今後の小倉講義の実施に賛成する」旨の回答が多数であった。
- ・2018 年 10 月 31 日に小倉特別講義実行委員会を開催した。第 2 回小倉特別講義では、気象力学・中緯度大気循環をテーマに開催することを検討する。第 2 回のテーマにあ

わせ、非常任の実行委員を交代した。

電子情報・・・以下の内容が書面で報告された。

- ・2018年11月18日に委員会をオンラインで開催した。主な議論の内容は以下の通り。
- ・常時SSL化に関連し、jmsj.metsoc.jpの証明書を取得することとなった。
- ・会員向けサイトのページを構築中。投票機能や、過去の気象研究ノートのページをテストしている。

人材育成・男女共同参画・・・以下の内容が報告された。

- ・2018年11月9日に委員会をオンラインで開催した。主な議論の内容は以下の通り。
- ・保育支援に関連して、2018年秋季大会中の利用報告と広く意見収集するためのアンケートのあり方について検討を行った。

3)理事長報告

小倉先生を訪問し、小倉基金の運用方法についてご相談した。特に基金を教育と普及にも活用することを希望された。また、奨励賞の名称を小倉奨励賞に変更することについてご承認いただいた。なお、基金の活用実績は年度末にご報告する。

平成31年1月31日

公益社団法人日本気象学会

理事長 岩崎俊樹

監事 鈴木 靖